

令和2年度 地歴公民科

教科	社会	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版「日本史A」 (山川出版)						
副教材等	図説 日本史通覧 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に“なぜ”の視点をもつ。

2 学習の到達目標

我が国の近・現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	我が国の近・現代の歴史の展開について国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点から考察し、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義について考える。	開国以後、明治維新を経て近代日本が急速に形成された過程に関心と課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。	客観的かつ公正な資料に基づいて、事実を正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を養う。	我が国の近・現代の歴史の展開についての基本的な事柄を国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける。
評 価 方 法	ワークシート提出 ワークシート・板書等	定期考査 ワークシート・板書等	定期考査 ワークシート・板書等	定期考査 ワークシート・板書等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	第1章 開国と明治維新	第1章 開国と明治維新 1. アジアの激動と日本の開国 ＊ペリー来航から開国に至る過程について、列強の進出による東アジア情勢の変化に着目して理解する。			○	○	c：資料集等を読み解く力を身につける d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1	2. 江戸幕府の滅亡	2. 江戸幕府の滅亡 ＊尊皇攘夷・公武合体から倒幕へと急展開する幕末の複雑な政治過程を理解する。		○		○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1	3. 明治維新	3. 明治維新 ＊大政奉還から戊辰戦争を経て廃藩置県に至る、幕末・明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解する。		○		○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1	4. 富国強兵	4. 富国強兵 ＊秩禄処分・徴兵令を、封建的身分制の解体、近代兵制の樹立として理解する。		○		○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

1	5. 明治初期の外交	5. 明治初期の外交 *琉球と樺太・千島という列島の南北端に注目し、近代日本の国境確定過程を整理する。	○	○	○	a：積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1	6. 殖産興業と文明開化	6. 殖産興業と文明開化 *統一幣制・地租改正・殖産興業政策を、明治国家の一貫した経済近代化政策として捉え、また、地租改正反対一揆などの民衆の反応にも注目する。		○	○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 c：資料集等を読み解く力を身につける d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1	第2章 立憲国家の成立	第2章 立憲国家の成立 1. 自由民権運動 *民撰議院設立の建白書に始まり、立志社・国会期成同盟の運動、政党の結成を経て、激化の諸事件に至る民権運動の展開過程を理解する。		○	○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	2. 立憲制の成立	2. 立憲制の成立 *政府による憲法制定作業と憲法の定めた政治原理を理解し、憲法制定に続く諸法典・地方制度・軍制・教育制度の整備について整理する。		○	○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

2	3. 立憲政治の展開	3. 立憲政治の展開 * 初期議会から桂園時代の開幕に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争などの視点から理解する。	○	○	○	○	a : 積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	4. 日清・日露戦争	4. 日清・日露戦争 * 欧米諸国との対等な関係をめざして不平等条約の改正を実現し、日清・日露の両戦争を通じて東アジアに進出し、列強への仲間入りを果たした経過について理解する。	○		○	○	a : 積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている c : 資料集等を読み解く力を身につける d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	5. 産業革命と社会の変容	5. 産業革命と社会の変容 * 日清・日露戦争前後の時期に、資本主義経済の基礎が確立された過程を、産業革命の経過や紡績・製糸・鉄道などの主導部門の成長に着目して理解する。 * 農業部門の停滞、農民の貧困や、近代産業の発展にともなう社会問題、労働問題の発生について理解する。	○	○		○	a : 積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

2	6. 明治の文化	6. 明治の文化 *伝統的文化という基層のうえに欧米文化が模倣・導入されたことを特徴として、国民的な性格を持って成立した近代文化について、「先進世界へのキャッチアップ」という視点から理解する。	○		○	○	a：積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている c：資料集等を読み解く力を身につける d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	第3章 第一次世界大戦と	第3章 第一次世界大戦と日本 1. 政党政治の展開 *2回の護憲運動を経て、政党政治が「憲政の常道」となるに至る過程を理解する。		○		○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	2. ワシントン体制	2. ワシントン体制 *第一次世界大戦・ロシア革命・ヴェルサイユ=ワシントン体制の成立という世界史的激動に日本がどう対処したかを整理する。		○		○	b：あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	3. 経済・社会の変容	3. 経済・社会の変容 *第一次世界大戦によって一時的な繁栄を謳歌した日本経済が、大戦終結や関東大震災によって深刻な打撃をこうむる過程を理解する。			○	○	c：資料集等を読み解く力を身につける d：教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

2	4. 市民文化	4. 市民文化 *労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について理解する。	○		○	○	a:積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている c:資料集等を読み解く力を身につける d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	第4章 昭和の恐慌と満州事変	第4章 昭和の恐慌と満州事変 1. 恐慌の時代 *金融恐慌から金解禁を経て昭和恐慌に至る日本経済の動揺を、世界経済との関連に注意しながら理解する。		○		○	b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	2. 政党内閣期の内政と外交	2. 政党内閣期の内政と外交 *田中・浜口両内閣期に、対外的には協調外交が、内政的には政党政治がゆきづまっていく過程を理解する。		○		○	b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
2	3. 軍部の台頭	3. 軍部の台頭 *満州事変に始まる中国侵略の本格化と五・一五事件による政党政治の終焉という内外の激動が、連動して進行する過程を理解する。		○		○	b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

3	第5章 第二次世界大戦と日本	第5章 第二次世界大戦と日本 1. 日中戦争 *二・二六事件を契機に軍部の政治的発言権が増大する中, ついに中国との全面戦争に突入していく過程を理解する。		○		○	b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査	
3	2. 重化学工業化と統制経済	2. 重化学工業化と統制経済 *軍需が支えとなって日本経済が恐慌を脱出し、重化学工業化が進む一方、経済の全面に渡って国家統制が強化される過程を理解する。				○	○	c : 資料集等を読み解く力を身につける d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
3	3. 第二次世界大戦と太平洋戦争	3. 第二次世界大戦と太平洋戦争 *日米交渉から開戦, 緒戦段階の日本の優勢から米軍の全面的反攻, 終戦に至る 日米戦争の全過程を, 戦争にともなう国民生活の全面的崩壊とともに整理する。		○		○	○	b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 c : 資料集等を読み解く力を身につける d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
3	近代の追究	近代の追究 ○国際情勢と国民一移民問題と近代日本の外交一 *近代日本の北米(ハワイ・カナダ・本土)移民の消長を, 合衆国の移民政策や日米外交関係の変化から整理する。		○		○	b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 c : 資料集等を読み解く力を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査	

3	第6章 占領下の日本	第6章 占領下の日本 1. 占領と改革 *戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 *戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。		○		○ b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
3	2. 冷戦の開始と講和	2. 冷戦の開始と講和 *東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 *連合国による日本の占領が終結したことと、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	○	○		○ a:積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
3	1. 55年体制	第7章 経済繁栄と保守長期政権 1. 55年体制 *冷戦秩序の下での日本国内政治について、55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 *冷戦構造に雪解けの状		○	○	○ b:あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 c:資料集等を読み解く力を身につける d:教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

		況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・ソ連・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。					
3	2. 高度経済成長期の経済と社会	<p>2. 高度経済成長期の経済と社会</p> <p>*高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</p> <p>*消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。</p> <p>*高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、国際情勢の変化を踏まえて行った国内の政治対策について考察する。</p> <p>*第2次石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。</p>	○	○	○	<p>a : 積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている</p> <p>b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。</p> <p>d : 教科書中の重要語句国際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける</p>	<p>授業態度</p> <p>発問評価</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p>
3	1. 冷戦	<p>第8章 現代の世界と日本</p> <p>1. 冷戦の終結と日本</p> <p>*冷戦体制の終結とそれ</p>		○	○	<p>b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。</p> <p>d : 教科書中の重要語句国</p>	

	の 終 結 と 日 本	に関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。					際社会と関連付けながら理解し、その知識を身につける	
3	2. 日 本 社 会 の 変 容	2. 日本社会の変容 * 科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	○	○			a : 積極的に授業に取り組み、歴史への関心を高め、その意義にちて考えられている b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
3	現 代 か ら の 探 究	現代からの探究 ○ 現代日本の農業問題を歴史的に考察してみよう * 極端に低い食料自給率や農業人口の高齢化に見られる日本農業の危機の歴史的起源を、農地改革・高度成長・グローバリゼーションが日本農業にもたらした変化をたどることで理解する。		○	○		b : あらゆる事柄の課題意識を高め、国際環境と関連付けて理解する。 c : 資料集等を読み解く力を身につける	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 技能

b: 思考・判断・表現
d: 知識・理解